

委員会会議録

(一社)滋賀県トラック協会

会議名	平成27年度 第2回 成長戦略委員会
開催日時	平成27年9月16日(水) 13:35~16:25
開催場所	滋賀県トラック総合会館 2F「特別会議室」
出席者	委員7名、事務局4名

協議内容
<p>定刻より5分遅れて開会。</p> <p>開会にあたり田中会長から今後大きな事業が続くので協力願いたいと述べ、引続いて外村委員長からあいさつの後、議事進行された。</p> <p>(1)平成28年度県予算編成に対する要望について</p> <p>会長から去る9月14日、県土木部長宛に行った交付金満額要請についての報告と、平成28年度県予算編成に対する要望について概略説明された。又、要望する政党については以前民主党が政権を取ってから自民党県連と民主党県民ネットワークであったが、滋賀県では民主党県民ネットワークの議員がチームしがにいたりしており、不明瞭な部分も多いため自民党県連のみとしたい。資料5の琵琶湖大橋通行料金問題についても普通車はワンコインと言われていたが思ったよりも高い。この件については、業界としては無料を訴えてきたが、今後、県議会で決定されるよりも前に、県や道路公社に対して、ETC制度が導入されるまでは運輸業界として割引制度の導入について要望していきたいと述べられた。また、理事会でも琵琶湖大橋通行料金問題について時間がないのでこの件については正副会長に一任して欲しい。琵琶湖大橋通行料金問題については平成28年度県予算編成に対する要望にも盛り込みたいと発言された。</p> <p>続いて、種村専務から平成28年度県予算編成に対する要望内容について詳しく確認を行ったところ、交通混雑による農道への流入により、我々トラックも道路に損害を出しているという話を聞いている。これに対応するためにも早期に幹線道路、1号バイパス、8号線バイパスの完成を求めていくことになり、正副会長会議に提案することになった。</p> <p>その他、彦根の国道8号線の混雑解消は、道路の拡幅については現状の沿道の会社、お店の建ち並びでは非常に難しいことから道路を2階建てにするしかないのではないかとの発言もあった。</p>

(2) 次年度事業のあり方について

先ず、事務局中野から参考資料 2 により「滋賀にキラリ輝く七つ星」事業について確認を行った。

交通事故防止総決起大会について

会長から当協会では来年 50 回目を数える交通事故防止総決起大会については、「滋賀にキラリ輝く七つ星」事業の中にもあるように運輸関連団体や県、県警もコラボしながら県民参加型の事故防止大会を開催したいと述べられた。

続いて、大黒参事から次年度事故防止大会の会場及び日程は早く押さえる必要があり、会場の抽選会は 1 年前に行われている旨を報告。安全環境委員会では日程は 10 月 16 日(日)を希望日とし、会場は守山市民ホールは 10 月中は既に予定が入っており、竜王ドラゴンハット、栗東さきら、の方向で検討されている。先日、高速隊と竜王ドラゴンハットの使用について竜王町役場に出向き打合せを行ったところ、町長にも会い歓迎ムードであった。ドラゴンハットは駐車場も広い。栗東さきらについては 10 月 1 日行われる抽選会に参加したい。さきは駐車場が有料になるのが課題との報告があった。又、来月 4 日、愛知県トラック協会が豊田スタジアムで行う「トラックと交通安全・環境フェア」に執行部、安全環境委員会と広報推進委員会の正副委員長、バス協会、タクシー協会、県、運輸支局とで視察に行くがバスの中で、日程、場所について話をしたいと述べた。

トラックの日の事業について

意見を求められたところ、次の意見があった。

- ・ イベントを行うのは良いが、ぐるっと・びわ湖・クリーンアップについては、定着しており支部の事業の一つになってきている。残して欲しい。
- ・ 内容は別にして、トラックの日は業界を P R するには良い機会である。
- ・ 事故防止大会を大々的に行うことにより運輸業界全体のイメージアップに繋げたい。又、事故防止大会をとトラックの日のイベントを同日に行うか、違う日に行うかは検討していかなければならない。
- ・ もしイベントを行うのであれば、栗東さきら、竜王ドラゴンハット、長浜ドームと場所を毎年持ち回りで行えばよい。先ず場所を押さえるのが先決である。
- ・ 場所は滋賀県のほぼ真ん中の、竜王ドラゴンハットがよい。トラックの日の事業と同日に行うのか検討すべきで。

- ・ ぐるっと・びわ湖・クリーンアップについては支部から出して頂く参加費の問題(負担)となっていることは聞いている。それに、このクリーンアップ活動が業界の地位向上と業界のイメージアップに繋がっているのか疑問である。

例えば、ボランティアで琵琶湖の外来水草・オオバナミズギンバイの駆除を行った方が県民へのPR度が高いのではないか。

- ・ クリーンアップ活動も評価されている。毎年、参加者が増えるのが評価されている証拠ではないか。
- ・ 支部では従業員同士が集まるイベントがないのでクリーンアップ活動は良い機会になっている。
- ・ クリーンアップ活動を本当のボランティアとして参加費はなしで行ってはどうか。

・・・などの発言があったが、10月は各自治会や学校の行事も多いので、琵琶湖のトップシーズン前の6月、7月始めにクリーンアップ活動を継続して行う方向で正副会長会議に答申することになった。

グリーン・エコプロジェクトについて

大橋参事から参考資料5により現在の参加事業者、車両数について報告があり、今年度350万円の予算で、この事業については賛否両論ではあるが効果はあるという事業者もある。今後、アンケートを取りたいと述べた。

続いて、次の意見があった。

- ・ 当社では省エネ運転行っているが、ドライバー自ら率先して燃費計算を行っており、この事業に参加する必要はない。
- ・ 事業者負担がなくなったから参加事業者が増えてきた。ドライバーや管理職の負担にもなる。効果は少ない。
- ・ この事業に参加しているが、書かれているコメントもいつも同じで効果がない。
- ・ 協会として費用対効果が少ないのであればこの事業は辞めた方がよい。参加している事業者もやる気があれば継続してやるのではないか。
- ・ 当社は参加して少し燃費が良くなった。管理職とドライバーのコミュニケーションもとれるようになってきたのは確かであるが、予算の350万円を33社だけが使ってよいのか、という考えにもなる。

・・・などの発言があり、全国的には5～6都府県が行っているが、東京以外は、全ト協も含めて評価が低い。辞めたいと思っている県もいくつかある。燃料も下がってきている。又省エネ運転は当たり前になってきていることもあり、辞める方向で正副会長会議に答申することになった。

交通事故削減目標達成に向けての数値の見える化について

会長から理事会等で資料は配付されるが、七つ星事業にもあるように全会員に対し四半期毎にメールやFAX等を活用して広報してもらいたいと述べられた。

(3) 報告事項

観光PR事業（秋の全国交通安全運動に係る啓発活動）について

大黒参事から資料2により観光PR事業について説明があった。

物流キャリア教育について

大黒参事から資料3により高校選定や実施要領について説明があった。

続いて、会長から、八日市南高校より他業種からもキャリア教育の要請があり一緒に出来ないかと言われた。選定された10校からはいろんな注文があるかも知れない。実施時間は放課後になるかも知れない。全クラスを対象とするのか1クラスだけになるのか。就職希望者だけが対象となるのか、他の生徒はその間どうするのか、いろいろ考えられるので担当の先生と綿密に打合せを行う必要がある。今年中でなくて良い、3月一杯までに行ってもらいたい。協会は会員から求人票を出しやすい環境作りをするのが目的であると発言された。

滋賀県倉庫協会会長でもある浅野委員から倉庫協会でもキャリア教育を行い、求人が会員数社から今年出された旨報告された。

その他、女性の活躍もPRする必要がある。物流キャリア教育の名前は堅いので物流出前講座の名前の方が支部役員も生徒もわかりやすいのではないかと。生徒目線で話をする必要があり、との発言があった。

第1回事業用自動車無事故・無違反運動～ベストドライブ・キャンペーンについて

大黒参事から資料4により実施要領について説明があり、続いて、会長から今月27日の交通事故防止総決起大会でPRしたいと述べられた。

琵琶湖大橋通行料金問題について

「(1)平成28年度県予算編成に対する要望について」で当協会としての対応について検討済み。

次回委員会

平成27年12月

詳細日程については後日、調整の上決定。

会議終了後、忘年会を実施。開催場所については会長一任。